

代表質疑

民主クラブ

荒木 詩郎 並木 まき
守屋 貴子



放課後保育クラブの活動の様子

放課後保育クラブ

問 市内に43ある放課後保育クラブは、4校で増設し、平成22年度は待機児童ゼロでスタートする。現在の入所要件は小学1年生から3年生であり、定員に余裕がある場合、心身に障害を有する者は6年生まで、それ以外の者は4年生の夏休みまでである。

次の目標として、各校の定員増や対象年齢を拡大すべくではないか。
また、開所時間の延長は、遅くとも23年度から実施とのことだが、保育の質が低下してはならない。指導員

答 4年生以上への入所の拡大は、保護者から要望がある一方で、現状のままでも良いという意見もある。市民のニーズ、子供の成長発達段階、施設整備も踏まえて多面的な検討が必要と考えている。

開所時間の延長は、保護者のニーズを受け止め、高く評価された放課後保育クラブの運営や保育水準を確保することを認識しつつ、指定管理者である社会福祉協議会と協議を進めていく。協議においては、指導員の意欲が低下しないように配慮していきたい。

今後の教育施設の改修については、騒音やほこりが出る工事は夏休み期間中に行い、9月以降は学校運営に影響の少ない仕上げ工事を行い、安全管理を含め万全を期して工事を進めたい。また、分離発注方式によって改修が遅れた事情もあるため、規模の大きい改修には設計施工一括発注方式を併用し、騒音の出る工事は夏休み期間中に終わらせるものと考えている。

耐震改修

問 市長の施政方針によれば、公共施設の耐震改修が当初の計画より遅れているが、特に教育施設の安全や教育活動に支障が出てはいかないかと考える。

の意欲を下げないことが重要である。市の見解を問う。

平成21年度は、夏休みまでに改修を完了とするのが

行財政改革

問 現在の財政力指数の悪化から脱却するため、市長が目指すとしている行財政改革の方向性は、どのようなものなのか。

また、行政評価システムの見直しや事業仕分けを実施することだが、どのような内容となるのか。
答 前市長の下、行財政改革が行われてきたが、経済

情勢の悪化や、医療、福祉分野での義務的経費の伸びなどにより、市政を取り巻く環境は一層厳しくなってきた。これまで実施してきた行財政改革も推進しながら、行政評価システムの再構築を進めていきたい。

また、行政評価システムの再構築により、既存事業の見直しや事業仕分けを実施することだが、どのような内容となるのか。
答 前市長の下、行財政改革が行われてきたが、経済

このまま実施してきた行財政改革も推進しながら、行政評価システムの再構築を進めていきたい。

また、商業の観点からは、

ものを選ぼうと考えている。行財政改革への取り組みは極めて重要であり、厳しい財政状況下においても相対的決意を臨んでいきたい。

また、商業の観点からは、

農産物等の直売所は、他市の例を見ても簡単に事業が軌道に乗るとは思えない。事業を安定的に継続させる対策を考えているのか。

また、商業の観点からは、

ドイツのバイエルン州ローゼンハイム市で行われる「いちかわデー」は、既に実行委員会が発足しているが、どのような内容となるのか。

また、各提携都市との友好親善については、見直し

みらい・つばさ

岩井 清郎 田中幸太郎
金子 正 寒川 一郎



地場特産品の販売も行われるいちかわ観光・物産案内所

が必要ではないか。今後の国際交流の在り方をどう考えているのか。

この度ローゼンハイム市にて、環境・経済政策の一環や文化・国際交流の場として、バイエルン州のガーデンショーが開催される。

また、海外の都市との交流を進める都市提携の形態として、姉妹都市、友好都市パートナーシティの他、WHO健康都市やIT先進都市などの特定分野の都市間交流がある。

また、各提携都市との友好親善については、見直し

インターネット市議会中継

市議会では本会議の様子を生中継しています。また、録画中継では、代表質疑、議案質疑、一般質問に分けて放送しています。



<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1221000003.html>



(仮称) 市川市文学館の展示室イメージ